

平成 21 年 11 月
No.09-075a(全)※1

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。

当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

■新規受託項目
TRACP-5b

■受託開始日
平成 21 年 11 月 2 日(月)ご依頼分より

以上

TRACP-5b

TRACP-5b (Tartrate Resistant Acid Phosphatase) は Tartrate (酒石酸塩) により分解されない ACP (酸性フォスファターゼ) の一つです。TRACP には 5a と 5b があり、5a がマクロファージ由来であるのに対し 5b は破骨細胞のみで産生されます。当検査は抗体にて TRACP-5b を捕捉し、その活性を測定します。

従来は骨吸収マーカーとして主に骨代謝によって分解された産物の測定を行っていましたが、TRACP-5b は破骨細胞から直接分泌される酵素であるため骨代謝の状態を鋭敏に反映します。このような特徴から治療後早期からビスフォスフォネート製剤の骨吸収抑制効果を判断することが可能です。

また、代謝経路が肝臓や腎臓に依存しないため、肝機能や腎機能の影響を受けません。加えて食餌の影響も受けずに日内変動が少ないので採血のタイミングに注意する必要がありません。

▼検査要項

項目コード	2314
検査項目名	TRACP-5b
検体量	血清 0.3 mL
保存方法	凍結
検査方法	EIA
基準値(単位)	男性 ; 170~590 (mU/dL) 閉経前女性 ; 120~420 (30~44歳) 閉経後女性 ; 250~760
所要日数	4~8日
検査実施料	160点(「D008」内分泌学的検査の「12」)※
検査判断料	144点(生化学的検査(Ⅱ)判断料)
備考	<p>※: 保険適用の内容</p> <p>ア. TRACP-5b 定量は、区分番号「D008」内分泌学的検査の「12」の I 型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx) 精密測定に準じて算定する。</p> <p>イ. TRACP-5b 定量は、代謝性骨疾患及び骨転移(代謝性骨疾患や骨折の併発がない肺癌、乳癌、前立腺癌に限る)の診断補助並びに治療経過観察時の補助的指標として実施した場合に6月以内に1回に限り算定できる。また治療方針を変更した際には変更後6月以内に1回に限り算定できる。</p> <p>本検査を「12」の I 型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx) 精密測定、「13」のオステオカルシン精密測定、「16」の尿中デオキシピリジノリン精密測定と併せて実施した場合いずれか一つのみ算定する。</p> <p>なお、乳癌、肺癌又は前立腺癌であると既に確定診断された患者について骨転移の診断のために当該検査を行い、当該検査に基づいて計画的な治療管理を行った場合は、区分番号「B001」特定疾患治療管理料の「3」悪性腫瘍特異物質治療管理料の「ロ」を算定する。</p>

■参考文献

三木 隆巳, 他: 医学と薬学 55: 443-458, 2006.